

# レッツ原価管理Go2をご利用のお客様向け インボイス対応 運用マニュアル

ご不明点はサポートセンターまでお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-225-862



株式会社レッツ

## 目次

---

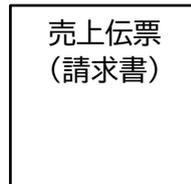
インボイス制度に対応した請求書を発行するには？	1
1. (事前準備)登録番号の登録	2
1-1. 自社の登録番号	2
1-2. 仕入先、得意先の登録番号	3
2. インボイスの発行	4
2-1. 売上傳票から請求書を出力する	4
2-2. 売上傳票(納品書)と請求明細書から出力する	5
2-3. 請求明細書から出力する	5
3. その他の帳票	8
3-1. 見積書から印刷する請求書	8
3-2. 発注書から印刷する自社向け請求書	9
4. 適格請求書 チェックリスト	10
適格返還請求書を発行するには？	11
免税事業者からの仕入を区別するには？	12
「免税事業者取引明細表」について	15

## インボイス制度に対応した請求書を発行するには？

レッツ原価管理Go2から出力する請求書でインボイス制度に対応するには、以下の三つの方法があります。

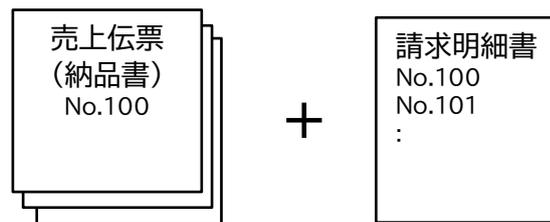
① 売上傳票から出力

税区分毎の消費税額の計算を適切に行い、税率や消費税額を記載した請求書を売上傳票から発行します。



② 売上傳票と請求明細書から出力

売上傳票で税区分毎の消費税額の計算を適切に行い、税率や消費税額を記載した納品書を発行します。その伝票番号を請求明細書に明記することで、インボイス制度に対応します。



③ 請求明細書から出力

複数の売上傳票を集計し、再計算した消費税額を記載した請求書を発行します。



本マニュアルに記載した設定・運用を行うことでインボイス制度に対応した請求書(適格請求書)の発行を行うことができます。

# 1

## (事前準備)登録番号の登録

### 1-1. 自社の登録番号

適格請求書発行事業者の登録番号を請求書に印字する必要があります。  
環境設定と売上傳票、請求明細書の書式設定に自社の登録番号を設定します。

(1) 環境設定 > 基本設定 を開き、自社の登録番号を入力します。

環境設定

F8 参照 F12 登録 閉じる

環境設定

基本設定 運用設定1 運用設定2 伝票初期値 得意先初期値 仕入先初期値 商品・見種分類初期値

会社情報

会社名 レッツ建設 登録番号 T1234567890123

略称 レッツ建設

住所1 宮城県仙台市本町一丁目3-5

住所2 (仙台和光ビル5F)

TEL 022-224-7205

FAX 022-224-7206

(2) メニューバーの台帳 > 書式設定 > 売上傳票(または請求明細書) を開き、「登録番号」に自社の登録番号を入力します。

書式設定に登録した登録番号が、印刷やExcel書出しに追加されます。

書式設定 請求明細書

F4 読込 F5 書式名 F12 登録 閉じる

書式データ データ1

印刷様式 A4標準\_縦1段

印刷  自社ロゴを使用する

タイトル 正 請求明細書

控 請求明細書 (控)  印刷する

会社情報

住所1 宮城県仙台市本町一丁目3-5

住所2 (仙台和光ビル5F)

会社名 レッツ建設

TEL 022-224-7205

FAX 022-224-7206

登録番号 T1234567890123

実行先  期票を印刷する 名簿 得意先請求明細書

得意先設定  得意先コードを印刷する  宛名を大きく印刷する

請求明細書 Page: 1

登録番号 T1234567890123

宮城県仙台市本町一丁目3-5  
(仙台和光ビル5F)  
レッツ建設  
TEL 022-224-7205  
FAX 022-224-7206

請求明細書 Page: 1

登録番号 T1234567890123

宮城県仙台市本町一丁目3-5  
(仙台和光ビル5F)  
レッツ建設  
TEL 022-224-7205  
FAX 022-224-7206

#### 参考

[F4読込]を行うと、環境設定に登録した自社情報(自社名と登録番号)を書式設定に読み込みます。  
記載済みの内容(例:振込先)は消えますのでご注意ください。

## 1-2. 仕入先、得意先の登録番号

仕入先、得意先の登録番号は仕入先台帳、得意先台帳に登録します。

### ● 仕入先の登録番号

仕入先の適格請求書発行事業者の登録番号を入力します。  
※自社の登録番号ではありません。

入力した登録番号は、自社向けの発注書を出力する際に利用します。(3-2.を参照)

### ● 得意先の登録番号

得意先の適格請求書発行事業者の登録番号を入力します。  
※自社の登録番号ではありません。

入力した登録番号は、レッツ原価管理Go2上では利用しておりません。  
情報管理のひとつとしてご利用ください。

## 2

## インボイスの発行

### 2-1. 売上傳票から請求書を出力する

売上傳票から請求書を出力する場合、売上傳票で「適切な税端数処理」と「税率毎に区分した消費税額の表示」を行います。

● 税端数処理は一つの伝票に含まれる明細の行数に応じて、税計算の指定及び端数処理を行います。

・ 売上明細が1行の場合  
税計算＝外税明細単位 または 内税 を選択。  
税端数調整は不要です。

・ 売上明細が複数行ある場合  
税計算＝外税明細単位 を選択。  
登録前に税端数調整を行います。

#### 参考

売上傳票＞編集＞入力設定の「登録、印刷時に税端数調整を実行する」をチェックON()にすると、税端数調整を自動で行います。(税計算＝外税明細単位の場合のみ)

#### 注意

異なる税率が混在すると税端数調整ができません。  
複数の税率を使用する場合は、伝票を分けて入力してください。

● 消費税額の表示に関する設定は書式設定から行います。  
メニューバーの台帳＞書式設定＞売上傳票 を開き、「印刷項目」の「税率毎の消費税額を表示する」「税率毎の本体金額を表示する」のオプションをチェックON()にします。  
(A4単票 縦2段、縦3段の場合は「請求書」の欄を設定します。)

税率毎の本体金額と消費税額が出力されます。

## 2-2. 売上傳票(納品書)と請求明細書から出力する

売上傳票(納品書)は 2-1. の手順に従い、出力します。

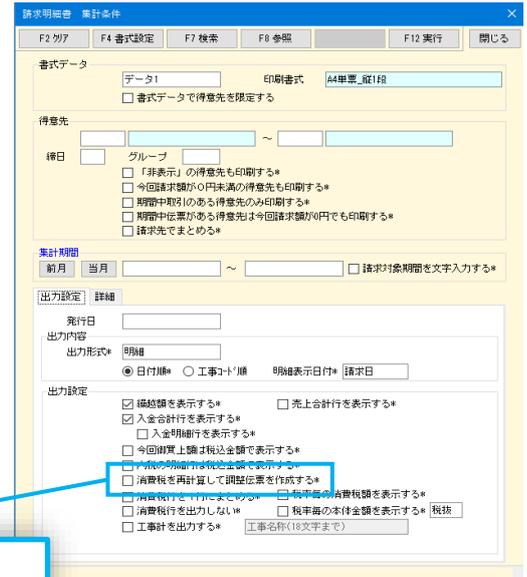
請求明細書を出力する際は「消費税を再計算して調整伝票を作成する」をチェックOFFにしてください。

(売上傳票で税額の調整を行っているため、請求明細書で消費税の再計算を行うとインボイスの要件を満たさなくなります)

### 注意

- ・「今回御買上額」を修正すると消費税額が再計算されます。集計後の値の変更は行わないでください。
- ・請求明細書のみでインボイス制度に対応した請求書を出す場合は、2-3の手順を行ってください。

内税の明細行は税込金額で表示する\*  
 消費税を再計算して調整伝票を作成する\*

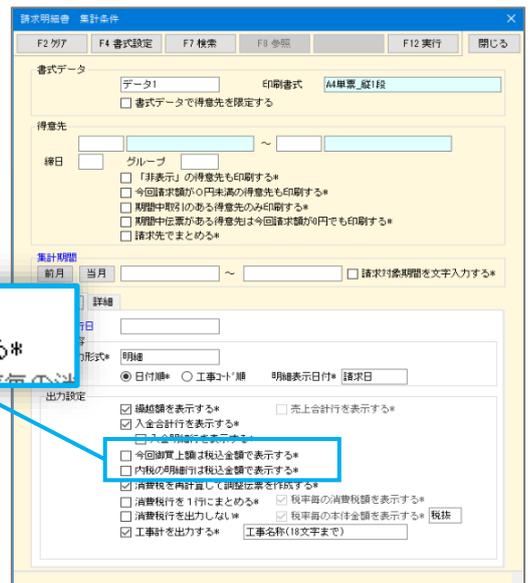


## 2-3. 請求明細書から出力する

請求明細書のみを発行する場合は、請求明細書で「適切な税端数処理」と「税率毎に区分した消費税額の表示」を行います。

1. 集計条件\_出力設定で「消費税を再計算して調整伝票を作成する」をチェックON(☑)にします。  
発行日が入力必須項目になるので入力します。

内税の明細行は税込金額で表示する\*  
 消費税を再計算して調整伝票を作成する\*



詳細タブに「調整伝票設定」が表示されます。  
調整伝票の工種、伝票部門の初期値を必要に応じて指定します。

出力設定 詳細

税率を印刷する\*

集計設定

集計対象	伝票種*	票区分*	スタンプ*	承認*	
売上傳票	含む	指定なし	-	-	指定なし
入金伝票	含む	指定なし	-	-	指定なし
入金伝票指替	含む	指定なし	-	-	指定なし
工事			-	-	指定なし

調整伝票設定

工種  自動作成される調整伝票の初期値として使用します。

伝票部門  作成された調整伝票で変更できます。

2. 集計結果を確認し、[F12確定]をクリックします。



日付	伝票No	商品/仕様 摘要	御買上額
22/10/05	97	雨樋工事 軒樋	15,750
22/10/05	97	参考 消費税	1,575
22/10/30	98	断熱材工事 床 グラスウール t42(32k)	13,054
22/10/30	98	断熱材工事 天井 グラスウール t150(16k)	25,936
22/10/30	98	参考 消費税	3,898
		(10% 対象 税抜)	54,740
		(消費税 10% 分)	5,474

各伝票の消費税額(A)

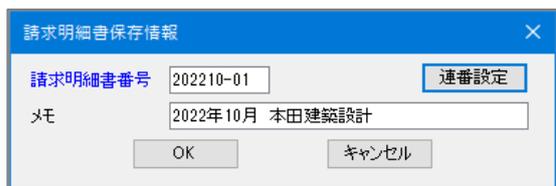
税率毎の売上金額の合計から計算した消費税額(B)

(B)の消費税額で請求を行うことで、「端数処理は一請求あたり、税率毎に1回ずつ」の条件を満たします。

参考

「参考 消費税」の行は、集計条件\_出力設定で「消費税行を出力しない」をチェックONにすると出力されません。

3. 確定後、保存情報画面が表示されます。  
請求明細書番号を入力し、[OK]で保存します。



[連番設定]を押すことで請求明細書番号の自動連番設定ができます。

[OK]で保存後、請求明細書を印刷やExcel書出しで出力します。

4. 上記(A)の合計金額と(B)の金額に差がある場合、調整伝票(消費税額の差を調整するための売上傳票)を作成します。

調整伝票を作成した場合、請求明細書番号の登録後に通知を表示します。



作成される調整伝票の内容は以下のとおりです。

項目名	設定値
売上日	請求明細書の集計期間の末日
工事	その他工事
得意先部門	詳細タブ_調整伝票設定_伝票部門 で指定した部門
科目	仮受消費税
商品名	「消費税調整」(固定値)
仕様 摘要	請求明細書番号入力時のメモ
金額	調整した金額
工種	詳細タブ_調整伝票設定_工種 で指定した工種
備考	請求明細書番号

- ・ 調整伝票は作成後に修正、削除が可能です。
- ・ 紐づいている請求明細書を削除すると、調整伝票も自動で削除されます。

# 3

## その他の帳票

売上伝票、請求明細書以外から発行する請求書では、以下の手順でインボイスに対応します。

### 3-1. 見積書から印刷する請求書

#### 1. (準備) 見積書の書式設定に登録番号を登録

メニューバーの台帳>書式設定>見積書 を開き、「登録番号」に自社の登録番号を設定します。

#### 参考

[F4読込]で会社情報を更新すると、環境設定の基本設定\_自社情報\_登録番号が設定されます。

記載済みの内容(例:振込先)は消えますのでご注意ください。



#### 2. 見積書の表紙に登録番号を設定します。

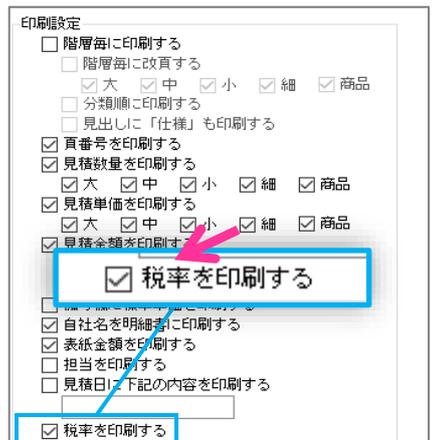
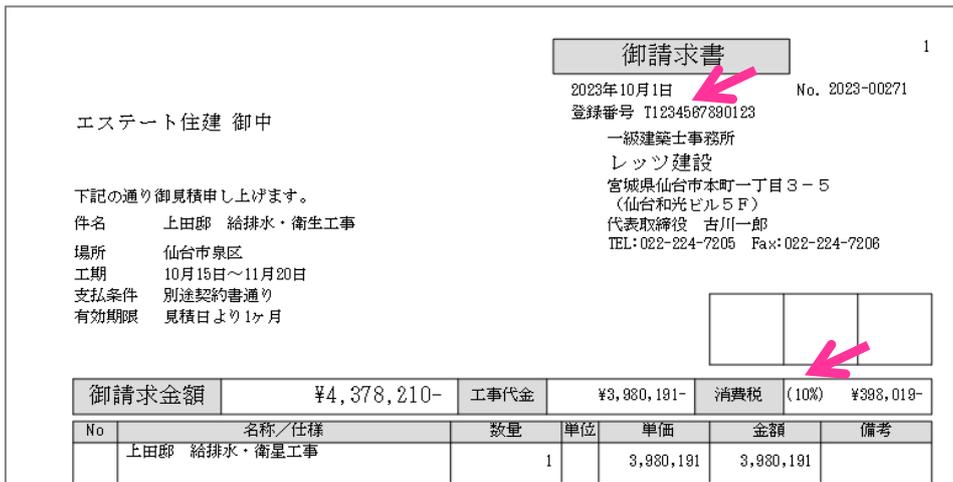
書式設定で登録番号を設定した後に新規作成した見積書は、自動で登録番号が設定されます。

書式設定の更新前に作成した見積書から請求書を発行する場合は、表紙の「登録番号」に直接入力します。



#### 3. 見積書の設定印刷設定で「税率を印刷する」をチェックON(☑)にします。

#### 4. 印刷やExcel書出しで請求書を発行します。



### 3-2. 発注書から印刷する自社向け請求書

- 仕入先台帳に仕入先の登録番号を入力します。
- 発注書で必要に応じて税端数調整を行います。

- 明細が1行の場合  
 税計算 = 外税明細単位 または 内税 を選択。  
 税端数調整は不要です。
- 明細が複数行ある場合  
 税計算 = 外税明細単位 を選択。  
 登録前に税端数調整を行います。



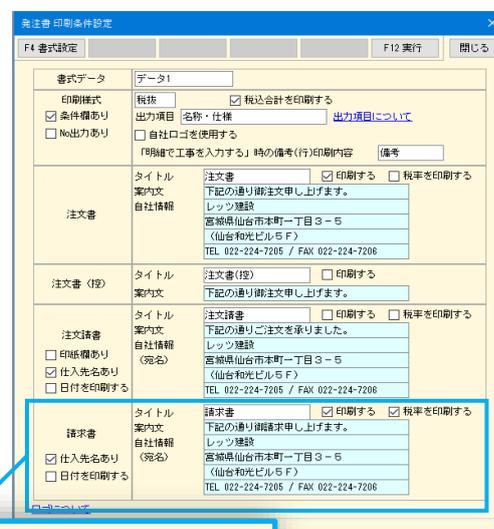
#### 注意

異なる税率が混在すると税端数調整ができません。  
 複数の税率を使用する場合は、伝票を分けて入力してください。

- 印刷やExcel書出しで請求書を発行します。

印刷設定の請求書の欄の「印刷する」「税率を印刷する」「仕入先名あり」をチェックON(☑)にします。

発注書の印刷設定には登録番号の入力欄はありません。  
 登録番号が登録されている仕入先の伝票で、「仕入先名あり」を  
 チェックON(☑)にした場合に登録番号を出力します。



請求書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕入先名あり <input type="checkbox"/> 日付を印刷する	タイトル	請求書	<input checked="" type="checkbox"/> 印刷する	<input checked="" type="checkbox"/> 税率を印刷する
	案内文	下記の通り御請求申し上げます。		
	自社情報	レッツ建設 宮城県仙台市本町一丁目3-5 (仙台和光ビル5F) TEL 022-224-7205 / FAX 022-224-7206		

レッツ建設 宮城県仙台市本町一丁目3-5 (仙台和光ビル5F) TEL 022-224-7205 / FAX 022-224-7206		請求書 年 月 日 登録番号 T0987654321098 989-8154 宮城県大崎市古川大原96-3 相沢建材株式会社 工務課 係長 山口													
下記の通り御請求申し上げます。 工事コード A90110 -00 工事名称 千葉玲子邸増築工事 工事場所 宮城県古川市台町1-23-56 注文番号 1314 納期 税抜金額 550,000 消費税 55,000 税込金額 ￥605,000- 備考															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称 / 仕様</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単価</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉玲子邸増築工事 基礎工事</td> <td></td> <td></td> <td>10%</td> <td>550,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称 / 仕様	数量	単位	単価	金額	備考	千葉玲子邸増築工事 基礎工事			10%	550,000	
名称 / 仕様	数量	単位	単価	金額	備考										
千葉玲子邸増築工事 基礎工事			10%	550,000											

仕入先台帳に登録した登録番号が出力されます

登録番号 T0987654321098  
 989-8154  
 宮城県大崎市古川大原96-3  
 相沢建材株式会社  
 工務課  
 係長 山口

## 4

## 適格請求書 チェックリスト

インボイス制度に対応するには、請求書に以下の項目を記載する必要があります。  
印刷した請求書が条件を満たしているか必ずご確認ください。

	記載事項	チェック
①	適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び登録番号	<input type="checkbox"/>
②	課税資産の譲渡等を行った年月日	<input type="checkbox"/>
③	課税資産の譲渡等に係る資産又は役務の内容(課税資産の譲渡等が軽減対象資産の譲渡等である場合には、資産の内容及び軽減対象資産の譲渡等である旨)	<input type="checkbox"/>
④	課税資産の譲渡等の税抜価額又は税込価額を税率ごとに区分して合計した金額及び適用税率	<input type="checkbox"/>
⑤	税率ごとに区分した消費税額等(消費税額及び地方消費税額に相当する金額の合計額をいいます。)	<input type="checkbox"/>
⑥	書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称	<input type="checkbox"/>

# 適格返還請求書を発行するには？

適格返還請求書とは、返品や値引きによる売上の返還を行う際、適格請求書発行事業者(売手)が交付しなければならない書類です。

インボイス制度開始以降の適格請求書発行事業者である課税事業者は、適格請求書の他、適格返還請求書の交付も義務となります。

レッツ原価管理Go2で適格返還請求書を発行する場合は、適格請求書と適格返還請求書を1つの書類として交付する方法で対応できます。

## 1. (伝票の登録)

売上伝票に返品、値引き分の明細を登録します。  
 その際、いつの売上に対する返還か記載をします。

No.	属性	科目コード	科目名	商品コード	商品名	単位	数量	単価	金額	工事コード	工事名	備考
1	通常	700	完成工事高	HA1480	止水栓	ヶ所	-3	13,730	-41,190	K12468	上田邸工事	給排水工事 材
					10月15日請求分				-4,119			
					工事内容変更に伴う返品							
2	通常	700	完成工事高	HA1470	分水工	ヶ所	-1	16,660	-16,660	K12468	上田邸工事	給排水工事 外
					10月15日請求分				-1,666			
					工事内容変更に伴う返品							

## 2. (請求書の発行)

売上伝票の印刷もしくは請求明細書より、請求書を発行します。

# 免税事業者からの仕入を区別するには？

免税事業者からの仕入を入力する際に、免税事業者用の税区分を使用します。

仕入先台帳の事業者種類を「免税事業者」にすると、伝票入力時の税区分の初期値が免税事業者用の税区分になります。

## 1. (事前準備)事業者種類の登録

仕入先台帳の事業者種類を「免税事業者」に設定します。



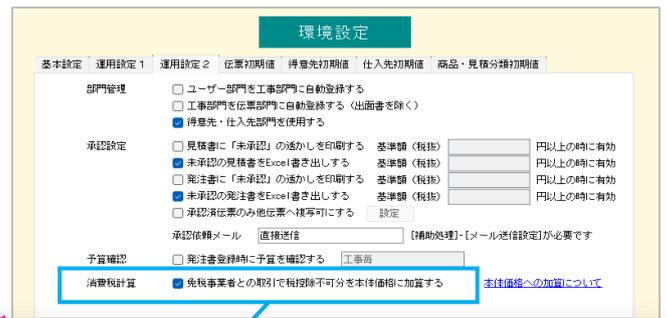
## 2. (事前準備)税控除不可分を本体金額に加算する設定の確認

免税事業者の取引を入力した際に、仕入税額控除できない消費税を本体価格に加算する場合、環境設定>運用設定2を開き、「免税事業者との取引で税控除不可分を本体価格に加算する」を有効にします。

### 注意

弥生会計に仕訳転記を行なっている場合は無効にしてください。

仕訳読込時に金額が不正になります。



消費税計算  免税事業者との取引で税控除不可分を本体価格に加算する

## 3. (伝票の登録)

発注書、仕入伝票、仕入伝票工事入力形式の入力時に「免税事業者」の仕入先を指定している場合、科目や商品を指定した際に自動設定される税区分が免税事業者用の税区分になります。

発注日 2023年12月15日

仕入先 SUZUKI

No	入荷	品目	品名	単位	数量	単価	税区分/税率	金額	消費税	合計	工事コード	工事名
1		810	040	仕掛	個	10	課税仕(免)	180	1,800	1,980	A0007	板井龍男部 新築
2		82	外				課税仕(免)	100		100	A0007	板井龍男部 新築

伝票日付＝インボイス制度の開始日以降  
仕入先＝免税事業者  
の場合、自動設定される税区分が、免税事業者用の税区分になります。

※自動設定された税区分は手動で変更できます

## 「免税事業者との取引で控除不可分を本体価格に加算する」が有効の場合

免税事業者の取引を入力した際、税控除できない消費税を自動で本体価格に上乗せ(加算)します。

### <計算対象>

発注書、仕入伝票、仕入伝票工事入力形式が対象となります。

伝票の直接入力のみ対応しています。テキスト読込、見積書からの複写には対応しておりません。

### <計算条件>

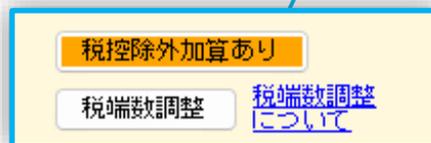
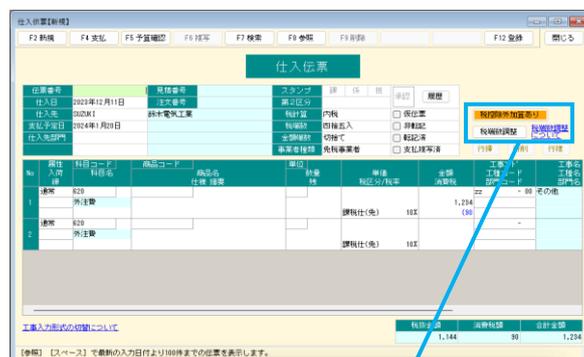
伝票日付 2023年10月1日以降  
 税計算 内税  
 事業者種類 免税事業者  
 税区分 免税区分 例 課税仕(免)

### <使用方法>

対象の伝票に[税控除外加算]ボタンが表示されます。

加算されている場合は「加算あり」(オレンジ色)、されていない場合は「加算なし」(灰色)と表示します。

伝票日付、税計算が計算条件に合わない場合は[税控除外加算]ボタンを押しても計算を行いません。



伝票日付が2023年10月1日以降、仕入先に免税事業者を入力した場合、仕入先の税計算の設定にかかわらず伝票の「税計算」は「内税」に自動セットされ、[税控除外加算あり]になります。

### <過去の伝票の扱い>

本機能の追加前に作成した伝票は「加算なし」になります。

加算処理を行う場合、一つずつ伝票を開いて修正する必要があります。

検索方法：伝票の検索条件「税控除外加算」を「加算なし」で検索してください。

### 注意

- ・税計算を外税から内税に変更した場合、税込金額で入力し直す必要があります。
- ・既に財務会計ソフトへ転記している場合、「転記済」のチェックをONにしたまま登録してください。

### <計算基準>

1. 税込金額から消費税額を計算します。
2. 内税に控除割合をかけて、控除対象の消費税額を計算します。
3. 税込金額から控除対象の消費税額を引いた額が、控除不可分を加算した本体価格になります。

例) 税込金額 1,234円を入力、控除割合80%、税端数=四捨五入の場合

$$\text{消費税額} = 1234 \times 10 / (100 + 10) \quad ※10 = \text{税率}$$

$$= 112.181818\dots$$

$$\text{控除対象の税額} = 112.181818\dots \times 0.8$$

$$= 89.745454\dots \rightarrow 90 \quad (\text{小数点以下を四捨五入})$$

$$\text{控除不可分を加算した本体価格} = 1234 - 90$$

$$= 1144$$

#### 4. (転記設定) ※会計ソフトへの転記を行う場合

仕訳伝票転記>財務会計へ転記 より、連動する会計ソフトの転記設定画面を開きます。

「税区分」の設定で[初期値に戻す]ボタンを押すと、すべての税区分のコードが設定されます。

入力済みの税区分コードを初期値から変更している場合は、[初期値に戻す]は使わず、手入力で免税事業者用の税区分コードを入力します。

(入力するコードは各会計ソフトの説明書などをご確認ください)

勘称	名称	通常転記	完成振替		完成振替後の通常転記
			振替先	振替元	
軽非売	軽非売課税売上分課税仕入				
軽共売	軽共売課税売上分課税仕入				
課税仕(免)	免税課税仕入				
完課税仕(免)	免税完納時課税仕入				
課税仕(免)	免税課税仕入返還				
立替仕(免)	免税立替仕入				
非売仕(免)	免税非課税売上分課税仕入				
共売仕(免)	免税共通売上分課税仕入				
軽課税仕(免)	免税軽課税仕入				
軽完仕(免)	免税軽完納時課税仕入				
軽仕返(免)	免税軽返還課税仕入返還				
軽立仕(免)	免税軽立替仕入				
軽非売(免)	免税軽非課税売上分課税仕入				
軽共売(免)	免税軽共通売上分課税仕入				

#### 会計ソフトへの転記を行う場合の注意事項

- ・ 免税事業者からの仕入には「外税伝票計」以外の税計算方法を使用してください。  
免税事業者用の税区分の「外税伝票計」のデータは、会計ソフト側で読みエラーや消費税の控除率が正しく反映されない等の現象が発生します。
- ・ 控除率の異なる日を含む期間を指定して合計転記を行うと、控除率が正しく反映されません。
- ・ 弥生会計を使用して、完成振替の転記を行っている場合、  
転記設定で「完成時に「課税仕」の消費税を原価に振替する」をチェックONにしてください。  
OFFの場合、原価が正しく計算されません。  
(完成振替の転記を行っていない場合や、他の会計ソフトを使用している場合はどちらでも構いません)  
チェックONにした場合は、「課税仕」の完成振替税区分を「課税」の税区分に変更してください。

## 「免税事業者取引明細表」について

レッツ原価管理Go2では、免税事業者からの仕入時に発生した消費税のうち控除されない分を原価へ加算するか、環境設定で設定することができます。(P.12参照)

加算処理を行わない場合、会計ソフトと金額を比較するには「免税事業者取引明細表」を使用します。

### ■集計方法

1. メニューバー\_集計処理>管理集計>消費税集計 を開きます。
2. 集計条件を入力し、[F12実行]で集計を行います。  
出力帳票 = 「免税事業者取引明細表」  
集計期間 = 任意

免税事業者用の税区分で入力した明細を、科目毎、または工事別科目毎に出力します。

### (出力例)

科目	伝票日付	伝票番号	仕入先	税抜金額	消費税額①	合計金額	控除適用仕入税額② ①×控除割合	控除対象外 ①-②	税抜金額 + 控除対象外
610	材料仕入高								
	23/10/20	255	SAI TOYA	129,600	12,960	142,560	10,968	2,592	132,192
	23/10/20	255	SAI TOYA	75,600	7,560	83,160	6,048	1,512	77,112
	23/10/31	260	SUZUKI	14,400	1,440	15,840	1,152	288	14,688
	23/10/31	260	SUZUKI	2,820	282	3,102	225	57	2,877
	23/10/31	260	SUZUKI	12,600	1,260	13,860	1,008	252	12,852
			** 80%控除 **	235,020	23,502	258,522	18,801	4,701	239,721
			** 科目計 **	235,020	23,502	258,522	18,801	4,701	239,721
620	外注費								
	23/10/31	260	SUZUKI	19,800	1,980	21,780	1,584	396	20,196
	23/10/31	260	SUZUKI	15,000	1,500	16,500	1,200	300	15,300
	23/10/31	261	SUZUKI	6,000	600	6,600	480	120	6,120
	23/10/31	261	SUZUKI	17,880	1,788	19,668	1,480	358	18,238
	23/10/31	261	SUZUKI	11,400	1,140	12,540	912	228	11,628
			** 80%控除 **	70,080	7,008	77,088	5,606	1,402	71,482
			** 科目計 **	70,080	7,008	77,088	5,606	1,402	71,482
			** 総合計 **	305,100	30,510	335,610	24,407	6,103	311,203

項目名	内容
税抜金額	仕入伝票 明細の税抜金額
消費税額①	仕入伝票 明細の消費税額
合計金額	仕入伝票 明細の税抜金額と消費税額を足した金額
控除適用仕入税額②	消費税額①に控除率をかけた金額 (端数処理は、集計条件 税端数に従います)
控除対象外①-②	消費税額①から控除適用仕入税額②を引いた金額
税抜金額+控除対象外	税抜金額と控除対象外を足した金額

各項目について、控除率毎、科目毎、工事毎(工事別科目毎のみ)に合計を出力します。

合計は明細の金額を足した金額ため、①の合計に控除率をかけた金額と②の合計は一致しない場合があります。

### 注意

「免税事業者との取引で控除不可分を本体価格に加算する」が有効の場合、「免税事業者取引明細表」は正しく計算されません。